

「首座主教選立」を議題に9月28日(木)、東京において臨時公会が行われることが公示された。



ふうし よもすがら
 夫子よ、我等、終夜、
 勞して得る所なかりき
 然れども爾の言に依り
 て、我、網を下さん。
 既に之を行いて、
 魚を圍めること甚多く
 網裂くるに至れり。

(ルカによる福音書5:5～6)

つまり、私たちは使徒たちによって捕獲された魚である。その魚には、特別な聖神の恩賜が与えられる。
 聖使徒パウエルは「あなたがたは神殿であって、聖神があなたがたの中に住んでいる」と言った。聖神という名の網をもって捕獲された魚は、聖神の住む神殿になるべ

命した時に起きた。船上のハリストスはペトルたちに漁をするように命じた。言われたとおり漁をしてみると舟が沈まんばかりの大漁になった。ハリストスは「恐れることはない。今からあなたは人間をとる漁師になるのだ」とペトルに言った。



仙台正教会
 教会だより

2023年
 10月号

仙台ハリストス正教会
 〒980-0021 仙台市青葉区中央三丁目四二〇
 TEL(〇二二)二二五-二七四四
 FAX(〇二二)二二四-三〇八〇
<http://www.sendai-orthodox.jp>
orthodox@hyper.ocn.ne.jp

大漁の奇跡は、ルカ伝によれば、主が弟子たちを召

きなのである。

私たちは、自分の中に何を住まわせているだろうか。自己中心的な欲望ばかりが居着いて、聖神の住む神殿などとはほど遠い生活を送っているのかもしれない。

しかし、聖神は何の準備もない人にある日突然に臨むことはない。ハリストスから使徒へ、使徒からその弟子へ、そのまた弟子から弟子へと、連綿とつながる「教会」をと

おして私たちに与えられる。大漁の奇跡と弟子の召命という福音は、私たちと実質的にしっかりとつながっている。

その「つながり」のためにある聖体礼儀は、私たちを捕獲する「聖神の網」であり、領聖は「自分という神殿」を建てなおすことであると言える。これからも、痛悔・領聖をつづけていこう。(D)

敬老会感謝祈禱

9月3日(日)、聖名日モレーベンと共に敬老会感謝祈禱が執り行われた。今年も新型コロナウイルスへの感染防止対策として祝賀会は開催されなかったが、昨年の約倍の人数の該当



者17名が感謝禱に参拝した。奇しくも、仙台の天主教としてセラフイム座下が聖体礼儀およびモレーベンを仙台で司禱される最後の日となり、参拝者全員で記念写真を撮った。

今年は、敬老会の記念品・御祝い品は、御祝いカードと共に当日に手渡しした方、宅配便で送付した方、および婦人会による敬老訪問として御宅にうかがった時にお渡しし方に分けて贈呈された。



敬老訪問

9月13日から15日にかけて、婦人会による敬老訪問が行われた。ダヴィド水口神父と共に、ナデジタ清水婦人会長(一日目のドライバーもご奉仕)、マリヤ永元姉、マリヤ太田姉、オリガ水口マトシカが計12件の信徒宅(留守宅を含む)を廻った。玄関先で失礼した方もあったが、全員、お元氣そうで、久しぶりに顔を合わせる方もあり、再会を喜び合った。



ダリヤ山村清子姉



アキリナ佐藤由枝姉



リュボフ伊藤智子姉



アンナ岡崎たい子姉

タチアナ飯塚順子姉
ニーナ遠藤真理子姉

ダヴィド木村史之兄



マリヤ木村富喜子 姉

ペートル高橋英俊兄
リュボフ高橋秋子姉

ウラジミル大泉 兄

セラフイム大主教座下のご動静

セラフイム大主教座下は、9月5日から12日にかけて東京に滞在され、日本ハリストス正教会教団のために奔走された。

9月6日(水)には、宗務総局会議に臨まれ、臨時公会の日程と西日本主教区からの要請についての協議、各委員会からの報告を受けた。

9月8日(金)には、来日中のロシア正教会渉外局長アントニイ府主教座下



▲ アントニイ府主教座下と 9/8

と教団内において日本正教会の首座主教着座までの日程などを協議された。

9月10日(日)には、ロシア正教会駐日ポドヴォリエのアレキサンドル・ネフスキイ聖堂建立15年記念式典で聖体礼儀をアントニイ府主教座下と共にご司持された。

9月12日(火)には、東京正教神学院の始業式に臨まれ、祈祷後には神学生に訓示をされた。



▲ 東京正教神学院始業式 9/12



▲ ポドヴォリエのアレキサンドル・ネフスキイ聖堂建立15年記念式典 9/10



聖歌研修会の開催

9月23日(土)、東日本主教教区東北ブロックの聖歌研修会が開かれました。



33名の参加者が集まり「楽譜を読もう」というテーマで長司祭ダヴィド水口神父より講義と実践が行われました。

配布資料だけでなく、プロジェクトアートを駆使した説明によって、ドレミファソラシドの音階のしくみから、音符の長さの事、強弱の記号、速度の示され方など、基本的な楽譜を読むための基礎知識が語られました。それをふまえて、正教会の聖歌の特徴があげられ、どうやったら音を正確につかまえられるかについても詳細な説明がありました。

水口神父による同研修会は、11月23日(木)にも全く同じ内容で盛岡正教会を会場に開催される予定です。

函館正教会を訪問して

ウエラ 村井 恵子

9月19日～21日に婦人会の永元道子姉・亜紀子姉・服部幸枝姉と共に、修復なった函館正教会を訪ねました。白亜の壁とスカイブルーの屋根に金色の十字架が輝く函館正教会の姿は、まるでお伽話の絵本のような美しさと荘厳さでした！

児玉神父様ご夫妻の笑顔の出迎えを受け聖堂へ。まずは献灯をして旅のモレーベンをして頂きました。その後、神父様の運転で教会墓地を訪ね、有原主教様やニコライ神父様のお墓、上磯では馬場神父様の墓前でも祈る事が出来ました。ご好意に

甘え、五稜郭タワーにも昇り明治維新の大改革にも思いを馳せました。夜は、函館山にタクシーを飛ばし百万ドルの美しい夜景に息を飲み、見とれました。

翌21日は、早起きをし朝市にも出掛け、上磯教会やトラピスト修道

院を見学しました。夜は、旅の目的の生神女誕生祭の前晩祷に参拝し、打ち鳴らされた鐘の音に感動しながら函館教会の方々と共に祈り詠う事が出来ました。

21日は、生神女誕生祭の聖体礼儀に参拝、痛悔をして穏やかな気持ちで、久し振りで繁子マトシカの指揮で声を合わせて生神女を讃美する事が出来て嬉しく感謝でした！！

末尾ながら 児玉神父様ご夫妻をはじめご奉仕下さった函館教会の皆様、心から感謝と御礼を申し上げます。



中新田正教会だより

8月の中新田正教会巡回は水口神父の体調不良により行われなかったが、9月には23日(土)に晩課、24日(日)に聖体礼儀と月例パニヒダ・レオ佐藤兄の40日祭及び納骨が行われた。

9月17日(日)には、代式祈祷が行われ、その後、9名の信徒の奉仕で境内の低木の剪定作業が行われた。

▶ 境内の低木の剪定



10月29日(日)に恒例の収穫祭を予定しています。ふるってご参加ください。



白河正教会だより

9月16日(土)から17日(日)にかけて水口神父が白河正教会を巡回し奉神礼を行った。聖体礼儀に引き続いて恒例の「秋の総パニヒダ」と共に、マルコ武内兄の一年祭の祈祷が行われた。

昼食後の勉強会では、「生神女マリヤのイコンの四つのタイプ」をテーマにお話があった。生神女のイコンには膨大な数の形があるが、まとめると四つのタイプに集約される。(1)マリヤが右手でハリストスを指し示す。(2)

▶ 秋の総パニヒダの様子



母子が頬を寄せ合う。(3)マリヤが両手をあげる。(4)マリヤが椅子に座る。自分の家にあるイコンはどのタイプだろう。



(1) ホディギトリア型
(「道を指し示す」)

生神女の手がハリストスを指している。我々をハリストスへ導く。



(2) エレウサ型
(「慈愛」)

頬を寄せ合っている。母子の愛、人と神の愛を表す。



(3) プラティラ型
(「天より広き者」)

両手を挙げて祈る。しるし、バナギア、オラントとも呼ばれる。



(4) 座像型

椅子に座る。神の藉身の座となったマリヤ。天と地を結ぶ者。

七五三感謝祈禱のご案内

教会では、子どもたちの健やかな成長と健康を願って毎年11月に七五三の感謝祈禱を行っています。今年は下記の日程で行います。コロナウイルスには十分お気をつけてご参拝ください。

日 時： 11月5日(日) 主日聖体礼儀後

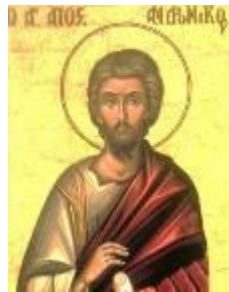
場 所： 仙台正教会聖堂

対 象： 乳幼児、児童



10月聖名日 モレーベンのご案内 10月1日(日)聖体礼儀後

10月の聖名日モレーベンに該当する方々の一覧です。



▲ 聖アンドロニク



▲ 聖ジナイダ

聖名日	聖 名	氏 名 (敬称略)
10/5	聖預言者イオナ	伊藤治男、小松貢平
10/8	セルギイ (ラドネジの奇蹟者)	鈴木桂一郎、高橋清太、コマロフ・セルギイ 高橋章紘、山田瑞樹、山田廣志
10/9	聖使徒イオアン	加藤 進、木村茂樹、木村秀一、 小堀敬大、菅原伸幸、鈴木貴之、 高橋紀武、板橋宏治、早坂 盤、 早坂恒輝、吉田光一、若松勝三、 恩田 修
10/13	ミハイル (キエフの府主教)	桜井正紀
10/14	ロマン (コンスタンチノーブルの聖歌者)	小松民雄、猪股弘平、金子論満、 本間俊平
10/18	ハリティナ (ポントの聖致命女)	早坂佐和子
10/22	アンドロニク (エジプトの克肖者)	本間金吾
10/24	ジナイダ (聖致命女)	渡辺静江
10/31	ハリサ (マグレンスカヤの聖大致命女)	土田宇快
10/31	聖使徒福音者ルカ	沢辺康夫、高橋克拓、中川国利、 平塚 裕

執事会報告

令和5年9月3日(日)

午後12時50分～14時30分 3階会議室

一、報告事項

・ダニイル府主教座下ご永眠 8/10

ニコライ堂で葬儀 8/16、17

8/17に仙台でパニヒダ

仙台ハリストス正教会信徒一同で弔電

セラフイム大主教座下が首座主教代理

8/22に臨時執事会

・水口神父が新型コロナウイルスに罹患

・8/17 水槽掃除、8/30 水槽定期

検査完了

・セラフイム大主教座下の台所のコンロ

が不良のため新調する。

聖堂のエアコンの室外機の部品交換が

8/30に行なわれた。エラー表示は解

消された。

・8/20に方舟会総会が開催された。

詳細は会報の会長報告を参照。

二、協議事項

(1) 敬老会

本日、モレーベンを行った。17人の参
拝者。お祝い品は、手渡しの方、送付
の方、訪問の方の三つに分けた。

9/13～15に敬老訪問予定

(2) 聖歌研修会について

東日本主教々区東北ブロック「聖歌研
修会」が9/23に仙台で行われる。

会場作り12時、受付12時半の予定とす
る。

(3) 信徒懇親会10/8～9について

現在、6名が申し込み。

献金報告 (5.8.23～5.9.24)

○聖堂内献金 三万六千五百二十三円

○感謝献金

神保 泉 (東京)

山村清子、高橋英俊・秋子、岡

崎たい子

安永ゆり

板倉京子

○降誕祭献金

板倉京子

○復活祭献金

板倉京子



○聖名祭感謝献金

昆守、村井恵子、清水彩子

服部幸枝、山中由美、高橋秋子

熊谷壮仁、熊谷宗彦、金澤篤彦

○敬老会感謝献金

山村清子、後藤やすゑ・邦彦

八文字積子、太田ちえ子、村井

恵子、早坂盤、千葉温、山田弘子、

山中歌子、笹川皓、笹川純子、

高橋英俊・秋子、熊谷天津子、

熊谷経光、永元道子、熊谷道子、

高橋清太

本多弘子、服部幸枝、大立目謙直、

小原淑子、勝又禮子、山寺しちよ、

高橋文彦、高橋哲郎、高橋紀武、

岡崎たい子

権藤順子

○会報献金

川股洋一郎

○パニヒダ献金

山田弘子 (菊池家記憶)

菅原きみ子

木村良治、丹野美紀、村井恵子、

熊谷天津子、

澤邊洋子、大立目謙直、笹川皓、

大立目潤子

服部幸枝、山中由美、佐々木隆

※敬称略

10月行事・奉事予定



30日(土) 主日徹夜禱 第8調(17時)

1日(日) 第17主日聖体礼儀(10時)

書札 コリンフ後6:16・7:1

福音 マトフェイ15:21・28

※ 聖名日モレーベン／ミニ講話

定例執事会

7日(土) 主日祭日徹夜禱 第1調(17時)

8日(日) 第18主日・ラドネジの聖セルギイ祭

聖体礼儀(10時)

書札 コリンフ後9:6・11

福音 ルカ5:1・11

■ 月例パニヒダ

8日・9日 東北ブロック信徒懇親会 於：八幡平

13日(金) 祭日徹夜禱 (17時)

14日(土) 生神女庇護祭聖体礼儀(9時)

書札 エウレイ9:1・7

福音 ルカ10:38・42, 11:27・28

14日(土) 主日徹夜禱はお休み 第2調

15日(日) 第19主日 代式祈禱(10時30分)

書札 コリンフ後11:31・12:9

福音 ルカ6:31・36

※ この日は代式祈禱が行われます。

◇ 婦人会・方舟会

14・15日 水口神父白河出張

14日(土) 18時 主日徹夜禱

15日(日) 10時 主日聖体礼儀

15日(日) 中新田正教会・代式祈禱(10時)

21日(土) 祈禱はお休み

22日(日) 祈禱はお休み

東京で首座主教着座式(予定)

28日(土) 徹夜禱はお休み 第4調

29日(日) 第21主日代式祈禱(10時30分)

書札 ガラティヤ2:16・20

福音 ルカ8:5・15

※ この日は代式祈禱が行われます。

◆ 聖堂清掃奉仕の日

♪ 聖歌隊練習日

28・29日 水口神父中新田出張

28日(土) 16時 勉強会／17時 晩禱

29日(日) 10時 主日聖体礼儀

／月例パニヒダ／収穫祭

10月の予定

【聖名祭感謝祈禱】→1(日)

【ミニ講話】→1(日)

【月例パニヒダ】→8(日)

【東北ブロック信徒懇親会】→8(日)・9(月)

【婦人会・方舟会】→15(日)

【聖堂清掃奉仕】→29(日)

【聖歌隊練習日】→29(日)

【教会学校】→随時

【伝道会 18時】4(水)、11(水)、18(水)、25(水)

バザー中止の お知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、今年も残念ながら「教会バザー」は中止といたします。物品献納も受けつけておりませんので、ご了承くださいようお願いいたします。